

統計調査ニュース

平成27年（2015）12月

No.349



平成27年国勢調査の統計編成に向けて

独立行政法人統計センター理事長 榎 広計

平成 27 年国勢調査に御回答いただいた全国民の皆様方，都道府県・市区町村で国勢調査の実施に御尽力いただいた担当者・指導員・調査員の皆様方に，統計センターを代表して深甚の謝意をささげます。

御承知のとおり，今回の国勢調査は，全国でパソコン・タブレット・スマートフォンによるインターネット回答を可能としました。そして，1900 万を超える世帯に御利用いただきました。お陰様で，インターネット回答の拡大によって，統計センターの統計編成業務を大幅に効率化できる見通しがつきました。統計センターは，これから調査票のOCR入力，産業・職業分類符号の格付，クリーンデータの作成，結果表の作成・審査といった統計編成業務に入ります。前回調査と比べ業務期間を 10 か月短縮して，2年間の統計編成業務により，提出いただいた調査票に刻み込まれた日本と地域の将来を示

すドラマを正確に描くことができるよう，職員一同全力をもって取り組んでまいります。

国勢調査の御回答には，試験調査時の検証によると1世帯当たり15分強の時間を所要しております。平成 22 年国勢調査結果の世帯数は約 5200 万世帯でしたから，少なめに見積もっても国民全体で 1300 万時間が費やされ，もし1名で回答したら，およそ 1500 年間かかる計算となります。現在，約 750 名が在籍している統計センター職員のうち，最大 210 名の専門職員が，期間業務職員を指導しながら統計編成を行う予定です。仮に，1世帯当たりの回答時間と同じ 15 分をかけて，210 名が1日8時間労働で業務を進めていたら 21 年かかってしまいます。これを2年間で完了させるためには，1世帯当たり平均 1.4 分ほどの時間で入力，文字認識，確認，分類，集計等の業務を進めねばなりません。

統計センターの統計編成業務で

は，約 50 年前からコンピュータの導入を進めており，また，OCRによる手書き調査票の文字認識技術やコンピュータによる産業・職業分類の符号格付技術等の研究・開発を続け，業務プロセスのICT化を推進してまいりました。しかし，難度が高い統計編成業務は，何といたっても人間が行わなければなりません。国民の皆様方から提供いただいた貴重な調査票情報を，セキュアな環境で統計編成を行い，政策決定に資する質の高い統計とするためにも，統計センター職員の使命は重大と感じています。

これからも統計センターは，国勢調査その他の各種統計調査において，皆様から頂戴した調査票情報の保護を徹底しつつ，国民の皆様の羅針盤足り得る公的統計を支えてまいります。改めて，平成 27 年国勢調査への御協力を心より感謝申し上げますとともに，今後とも各種統計調査への皆様の御支援・御協力をお願い申し上げます。

目次

平成 27 年国勢調査の統計編成に向けて	1	消費者物価指数の 2015 年基準改定に向けて	9
平成 27 年国勢調査の広報活動報告(その2)	2	国連アジア太平洋統計研修所 第3回「MDGs 指標に係る統計の作成能力の向上」コースの 実地研修について	10
平成 27 年国勢調査の結果公表のご案内 役立ちます！国勢調査の集計結果 ～注目される国と地方の人口・世帯の実態～	7	中核市発とうけい通信®	11
第 65 回全国統計大会を開催しました！	8		

平成 27 年国勢調査の広報活動報告（その2）

平成 27 年国勢調査では、センサスくんのみらいちゃんの着ぐるみを一新したほか、CM タレントの人気に相乗させるために CM 等にも活用し、センサスくんのみらいちゃんの知名度を浸透させるなど、次回調査を見据えた広報展開を実施してきました。

今月は、Facebook の「センサスくん 国勢調査への道」にも掲載した、地方自治体における活動や広報誌などの一部を紹介します。



○和歌山県有田市：
2015 有田みかん海道マラソンにて
「あり太くん」、「きいちゃん」と応援
に参加



○奈良県：
国勢調査クイズを出題する
など、街頭キャンペーンに
協力



○沖縄県石垣島：
市町村実施準備事務
打合せ会をお手伝い



○鳥取県：
日本海テレビにて
番組収録



○山形県：
第 27 回 日本一の芋煮会
フェスティバルに参加



○静岡県下田市：
黒船祭に参加



○栃木県：
栃木県統計
大会に出席

○岩手県
久慈市：
久慈秋まつり
に参加



○京都府：
京都市立芸術大学
の「伝音セミナー」
において大正・昭和
期の国勢調査広報用
レコードを視聴



○鹿児島県
南九州市：
平成 27 年国勢調査
の「ポスター図案」
小学生部門で総務
大臣賞を受賞した
小学校にお祝いへ



○群馬県
館林市：
つつじまつり
に参加

○兵庫県神戸市：
神戸まつりに
参加



○山口県：
山口大学の学生に国勢調査
の実施について
案内





○東京都：
池袋サンシャイン
シティ噴水広場で
広報イベントに協力



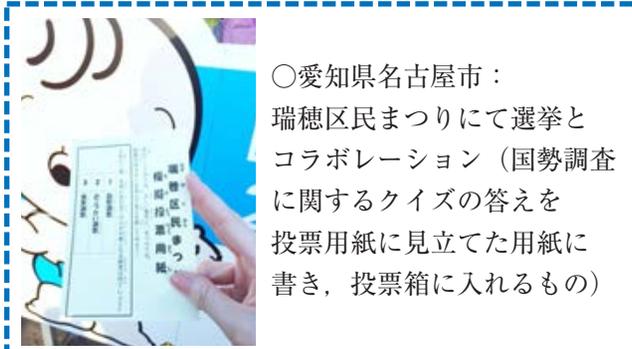
○長崎県長崎市、
佐世保市：
国勢調査周知のため、
人口予想クイズを
出題するなどの
イベントに参加



○鳥取県：
鳥取しゃんしゃん
祭に参加



○青森県：
アップアップ
ガールズ（仮）
さんと青森朝日
放送「ハッピー」
に生出演



○愛知県名古屋市：
瑞穂区民まつりにて選挙と
コラボレーション（国勢調査
に関するクイズの答えを
投票用紙に見立てた用紙に
書き、投票箱に入れるもの）



○徳島県：
阿波おどりで、
「すだちくん」と
共演

＝広報誌＝



△千葉県：
ちば県民だより
（国勢調査特集号）



△静岡県浜松市：
広報はままつ6月号

国勢調査
2015



＼ 5年に1度の大調査!! /
国勢調査が、進化しました!

スマート国勢調査!

ご回答ありがとうございました

平成 27 年国勢調査の実施に当たりましては、御回答いただきありがとうございました。全国で導入したインターネット回答（オンライン調査）につきましても、全世帯の約 4 割*に当たる 1918 万もの世帯の方々がインターネットを利用してくださいました。調査期間は 10 月末で終了し、現在は市区町村において調査票の審査を行っているところです。この後、平成 28 年 2 月に調査票を基に作成した「要計表」による「人口速報集計」を公表し、10 月に全ての調査票を集計した「人口等基本集計」を公表する予定です。

この度、御回答のお礼を兼ね、事後広報の一環として、11 月 21 日及び 22 日に行われた「世界キャラクターさみっと in 羽生」へセンサスくんとみらいちゃんが参加してきましたので、イベントの様子を写真を交えて紹介します。

※前回の国勢調査の世帯数を基に試算した割合

平成 27 年 11 月 21 日（土）及び 22 日（日）、埼玉県羽生市において「世界キャラクターさみっと in 羽生」が開催され、国勢調査のイメージキャラクターであるセンサスくんとみらいちゃんも参加してきました。

天候に恵まれた初日とはうってかわり、2 日目はあいにくの天候となりましたが、日本全国からたくさんの方々が来場され、2 日間の来場者数は約 45 万人と、大盛況のうちに幕を閉じました。



▲ イベント会場に設営された舞台上で、国勢調査を説明したり、調査への御回答のお礼をするセンサスくんとみらいちゃん

▼ 国勢調査の調査結果を利用したゲームの順番待ちをしている列で、国勢調査を説明する国勢統計課の職員





▲たくさんの来場者に囲まれて記念撮影をするなどして触れ合うセンサスくんのみらいちゃん

センサスくんのみらいちゃんは、小さい子からお年寄りの方まで、たくさんの方々と触れ合いました。

今回の国勢調査からオンライン調査を全国展開したこともあり、たくさんの方々から、インターネットで回答をした旨をお知らせいただきました。また、日本中の様々なところで実施した多種多様な広報活動を御覧になっていただいたことなど、心温まる声をかけていただきました。



▶
平成 27 年国勢調査の公表結果予定などを案内したリーフレットを配布したり、来場者と触れ合うセンサスくん

ゆるきゃら達と記念撮影



埼玉県深谷市：ぶっかちゃん



千葉県：チーバくん



愛媛県今治市：いまばりパリエさん



新潟県：レルヒさん



島根県：しまねっこ



奈良県王寺町：聖徳太子の愛犬「雪丸」

Facebookにてセンサスくんが「世界キャラクターさみっと in 羽生」の模様を報告していますので、是非御覧ください！ <https://www.facebook.com/kokusei2015>

平成27年国勢調査の結果公表のご案内

役立ちます! 国勢調査の集計結果

～注目される国と地方の人口・世帯の実態～

結果は速やかに公表します

速報集計

人口速報集計 平成28年2月公表予定

国勢調査結果の第一報です!
全国及び市区町村ごとの最新の人口・世帯数が分かります。

抽出速報集計 平成28年6月公表予定

男女・年齢別の人口、自営や勤めの仕事をしている人の数など労働力の状態、産業・職業ごとの就業者の数や、一人世帯、子供のいる世帯の数などが分かります。
これにより、我が国の人口と世帯の全体像が明らかになり、少子高齢化・地域活性化などの課題に対応するための基礎資料となります。

公表を早期化します

平成27年国勢調査では、すべての結果を公表するまでの期間を10か月短縮し、より迅速に皆様へ国勢調査の結果をお届けします。

あなたの街のくわしい結果も公表します

基本集計

人口等基本集計 平成28年10月公表予定

市区町村ごとの人口、世帯構成や住まい方、外国人の人口、65歳以上の人口などが分かります。
これを用いると、例えば次のようなことが分析できます。

- ◆ 一人暮らしの高齢者の数は5年前と比べ、どのようになっているのか?
- ◆ 未婚者の数は5年前と比べ、どのようになっているのか?
- ◆ 外国人の人口は市区町村によってどのようになっているのか?

就業状態等基本集計 平成29年4月公表予定*

産業・職業別の就業者数や、男女別の自営や勤めの仕事をしている人の数などが分かります。これを用いると、例えば次のようなことが分析できます。

- ◆ 働く女性の数は増えているのか?
- ◆ 医療、福祉関係の仕事をしている人は増えているのか?
- ◆ 専門的・技術的な仕事をしている人の割合は高まっているのか?

世帯構造等基本集計 平成29年9月公表予定*

母子・父子世帯、親子の同居などの世帯の状況が分かります。
これを用いると、例えば次のようなことが分析できます。

- ◆ 母子・父子世帯の数は5年前と比べ、どのようになっているのか?
- ◆ 親と同居している人は5年前と比べ、どのようになっているのか?
- ◆ 居住期間は地域によって違いがあるのか?

集計体系を見直しました

平成27年国勢調査では就業などに関する集計を就業状態等基本集計と世帯構造等基本集計に再編します。
この再編により、これまで別々に公表していた就業者の産業構造と職業構造を就業状態等基本集計の結果で一度に利用できるようになります。

*全国の結果の公表予定時期であり、都道府県別の結果については、これに先立ち、集計の完了したものから順次公表します。

報告書や解説書なども刊行します

- インターネットにより結果を公表した後、主な結果を収録した報告書を刊行します。
- 調査結果の解説や、主要な結果を視覚的に表した地図も刊行します。
- ◆ **解説シリーズ** 過去の結果と比較したものや、地域別の結果を編集、解説した冊子です。
- ◆ **日本人口地図帳** 市区町村別の主要な結果について、地図上で視覚的に表したものです。
- ◆ **地域メッシュ統計** 緯度・経度に基づき日本全域を網の目の区域に分けて、統計データを編成したものです。
- ◆ **最終報告書「日本の人口・世帯」** 国勢調査の結果を総合的に取りまとめた報告書です。
- これらの報告書や印刷物は、総務省統計図書館のほか、都道府県立図書館などで閲覧できます。



平成27年国勢調査の情報はこちらから

平成27年国勢調査

検索

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm>

第65回全国統計大会を開催しました！

全国統計大会は、10月18日「統計の日」の関連行事の一つとして、国、地方公共団体、関係団体等の統計関係者が一堂に会し、我が国の統計の進歩・発展のみならず、地域における統計の普及や活用に資することを目的に開催しています。

65回目を迎える今大会は、総務省及び公益財団法人統計情報研究開発センターの主催により、平成27年11月19日（木）、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホールにおいて、全国から約520名の統計関係者の参加のもと開催されました。

開 会

開会に当たって、まず、主催者として、古賀篤総務大臣政務官が総務大臣挨拶を代読し、その後、(公財)統計情報研究開発センターの小玉正任会長から挨拶を頂きました。



主催者挨拶を代読する古賀総務大臣政務官

各種表彰

続いて、統計調査の実施、統計の普及等に功績のあった方々に対する統計調査功績者表彰、第63回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰、平成27年度「統計の日」標語入選者表彰及び大内賞の授与が行われ、それぞれの受賞者に対して、会場からは大きなお祝いの拍手が送られました。

受賞者謝辞

各種表彰の後、受賞者代表として、大内賞受賞者の松田芳郎氏から謝辞が述べられ、会場からは盛大な拍手が送られました。

第36回統計シンポジウム

表彰式に引き続き、「平成27年国勢調査の結果データ

の利活用」をテーマとして、第36回統計シンポジウムが開催されました。

統計シンポジウムは基調講演とパネルディスカッションの2部構成で行われました。

《基調講演》

基調講演は、明治大学政治経済学部教授の加藤久和氏により、「国勢調査はどう活用されているか？」をテーマとして、国勢調査の項目から分かること、その役割や利活用について講演がありました。

《パネルディスカッション》

基調講演に続いて、日本大学経済学部教授の川崎茂氏を座長に、慶應義塾大学経済学部教授の津谷典子氏、みずほ総合研究所主任研究員の岡田豊氏、兵庫県企画県民部統計課参事の芦谷恒憲氏と基調講演を行った加藤久和氏によりパネルディスカッションが行われました。

議論に先立ち、パネリストの方々からそれぞれの視点に基づく発表が行われ、その後、発表に関連しての質問や補足、これまでの国勢調査の結果利用の経験を踏まえた分析テーマやデータ利用などに関する要望や期待、国勢調査結果がより有効に活用されて国民にとって身近な存在になるために必要なことなどについて議論が行われ、会場の参加者も交えて活発な意見交換が行われました。



シンポジウムの様子

統計グラフ全国コンクール入選作品の展示

また、会場入口では、統計グラフ全国コンクール入選作品を展示しました。参加者が熱心に見入るとともに、多くの受賞者が御自身の作品の前で記念撮影をされていました。

消費者物価指数の2015年基準改定に向けて

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合した物価の変動を時系列的に測定することを目的として、1946年8月以降約70年にわたり毎月作成・公表しています。同指数は、来年夏に「基準改定」を行う予定です。ここでは、基準改定の趣旨と主な改定内容を紹介します。

1 基準改定の趣旨

消費者物価指数は、金融政策における目標指標として採用され、経済政策を推進する上でも極めて重要な指標として用いられています。また、国民年金や厚生年金などの物価スライド、重要な経済指標を実質化するためのデフレーター、さらには賃金・家賃の改定の際の参考に使われるなど、官民を問わず幅広く活用されています。

このように、消費者物価指数は、「証拠に基づく政策立案」(evidence-based policy making)における客観的な基礎資料として活用され、国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報であることから、公的統計として、適切かつ合理的な方法により、中立性と信頼性が確保されるように作成されなければなりません。また、いつの時代にも社会経済情勢の変化に応じて有用性が確保され、適時的確に提供されることが不可欠です。こうした要請に応えるために、消費者物価指数では、一定の周期で指数の基準年次を更新する「基準改定」を行い、採用する品目やウエイトなどを見直し、公表する系列の拡充などを行っています。改定は、5年に1回、西暦年の末尾が0又は5の年を基準として実施しています。

総務省統計局では、次回改定に向けて、改定の主な内容及び指数作成上の基本方針を「消費者物価指数2015年基準改定計画」として取りまとめました。本計画は、統計委員会、関係府省庁等のほか、意見募集により広く国民の皆様から頂いた御意見を踏まえて策定したものです。

総務省統計局は、今回の改定を通じて、消費者物価の測定精度の維持向上と物価指数の有用性の確保を図り、期待される公的統計としての役割を十分に果たせるよう、より質の高い統計を適時的確に提供していくことを目指しています。

2 基準改定の主な内容

(1) 指数の基準時及びウエイトの更新

指数を100とする年次を2010年から2015年に更新します。また、固定基準方式のウエイトを2015年を基準としたものに更新します。なお、連鎖基準方式のウエイトは毎年更新します。

(2) 品目の改定

消費者物価指数の作成に用いる品目については、物価変動の測定精度向上を図る観点から、家計消費支出における重要度等を踏まえ、追加及び廃止を行います。また、一部品目の統合や、品目名称の変更も行います。この結果、新基準の品目数は585品目となります。

	品目数	対象品目の例
追加	33	コーヒー飲料(セルフ式)、補聴器、警備料
廃止	32	お子様ランチ、ETC車載器、筆入れ

(3) モデル式の改定

航空運賃や電気代、携帯電話通信料などは、料金体系が多様で価格も購入条件により異なります。これらの品目では、価格変動を適切に反映させるため、典型的な利用事例をモデルケースとするなどにより設定した計算式(モデル式)を作成し、指数を算出しています。今後、基準改定に向け、モデル式の加重平均に用いるウエイトの更新、採用する価格及びモデルケースの見直しなど、精度の維持向上に必要な改定作業を行う予定です。

(4) 公表系列の充実

人口構造の変化を踏まえ、世帯主65歳以上の無職世帯の支出をウエイトとした指数を新たに公表します。また、国内外で連鎖基準方式指数の利用が拡大していることから、生鮮食品を含む総合等について、連鎖基準方式の月次指数を新たに公表します。

3 指数作成上の基本方針

(1) 調査銘柄の常時見直し

企業戦略や世帯の消費行動は常に変化し、売れ筋も移り変わりますので、これに対応して調査銘柄を常時見直し、必要な調査銘柄の変更を適時適切に行います。

(2) 品質調整の適切な実施

価格変動の計測においては品質一定が条件であることから、品質調整を適切に実施します。

(3) POS情報・インターネット情報の活用

POS情報^{*1}をヘッドニック法^{*2}による指数の作成等に活用します。また、通信販売価格の情報や全国統一的な価格の情報などのインターネット情報も活用します。

※1 民間の販売時点情報管理システム(Point of Sales system)において収集された情報

※2 品質調整に用いる手法の一つ。各製品の品質がこれを構成する特性(性能)に分解でき、価格は性能で決まると考え、統計的に製品価格と性能の関係を計算し、品質調整済の指数を作成する手法

(4) モデル式の随時見直し

モデル式により指数を作成している品目において、新たな料金制度や価格体系が出現し又は普及した場合は、それらの実態を指数によりの確に反映できるよう、随時、適切な時期にモデル式の見直しを行います。

(5) 品目の中間年における見直し

急速な普及や衰退のあった商品(財・サービス)については、これらを指数に迅速に反映させるため、今回の基準改定を待たずに品目の追加、廃止等を行います。

国連アジア太平洋統計研修所

第3回「MDGs指標に係る統計の作成能力の向上」コースの実地研修について

国連アジア太平洋統計研修所とは

国連アジア太平洋統計研修所（SIAP）は、国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）の補助機関で、千葉県千葉市にあります。同研修所は、開発途上国の政府統計職員を養成することだけでなく、各国の統計に関する研修能力を向上させることも目的としています。1970年の設立以来、アジア太平洋諸国だけでなく、アフリカや中南米も含めた、世界中の政府統計職員約1万4800人を養成してきました。

今年度、日本国内では、「MDGs指標に係る統計の作成能力の向上」コースなどの研修コースを実施しています。

第3回「MDGs指標に係る統計の作成能力の向上」コースの実地研修の実施

このコースは、アジア太平洋地域等の開発途上国におけるミレニアム開発目標（MDGs）の達成状況のモニタリングと評価に不可欠なタイムリーかつ精度の高い公的統計の整備・充実を図る見地から、これら諸国の政府統計職員に対して、統計調査の設計・分析・公表における基礎理論と実務及び主要な公的統計（経済、人口、社会、農業、環境、人間開発及びミレニアム開発目標指標）の作成・解釈の基準や枠組みについて研修を行い、知識及び公的統計作成能力を向上させることを目的としています。今年度は、アフガニスタン、バングラデシュ、カメルーン、エジプト、イラン、ラオス、モンゴル、ミャンマー、ネパール、ソロモン諸島、スーダン、タイ、東ティモール、トンガ、ベトナムの15か国から26名の研修員が参加しています。

本研修コースの一環として、京都府、福岡県の協力を得て、平成27年10月21日（水）～23日（金）の3日間にわたり、地方公共団体における統計業務や家計調査業務、企業等における統計の利用状況等を視察しました。

◆ 京都府 実地研修日程 ◆

10月21日（水）

政策企画部長表敬、府勢概要、業務概要、家計調査の概要説明、統計課執務室視察



京都府政策企画部長表敬訪問

10月22日（木）

家計調査世帯訪問、質疑応答、意見交換会



家計調査世帯訪問

10月23日（金）

施設訪問等



施設訪問

◆ 福岡県 実地研修日程 ◆

10月21日（水）

調査統計課長表敬、県勢概要、業務概要、家計調査の概要説明、統計課執務室視察



県勢概要等説明

10月22日（木）

家計調査世帯訪問、質疑応答、意見交換会



調査区見学

10月23日（金）

施設訪問等



施設訪問

中核市発とうけい通信⑬

「選ばれるまち横須賀」を目指して

■横須賀市の概要

横須賀市は、明治 40 年 2 月 15 日に神奈川県内で 2 番目に市政を施行し、平成 13 年 4 月に中核市に移行しました。人口 403,870 人 (H27.11. 1 推計人口)、面積 100.83km² で、東京から 50km 圏内にあり、東西を海に囲まれ暖冬涼夏で自然に恵まれた土地です。

歴史の舞台においては、嘉永 6 年 (1853 年)、軍艦 4 隻を率いたアメリカ合衆国東インド艦隊司令長官ペリー提督が上陸した「開国のまち」として近代日本の幕開けに重要な役割を果たしました。

現在、本市では「子育て・教育環境の充実」、「生涯現役社会の実現」、「地域経済の活性化」の三つを最重点施策として位置付け、「選ばれるまち横須賀」を目指して取り組んでいます。



イメージキャラクター スカリン

■横須賀製鉄所 (造船所) 創設 150 周年

ペリー来航をきっかけに開国した江戸幕府は、自らの力で日本を守る必要性を考えるようになりました。そこで近代的な造船所の建設計画が立てられ、現在の米海軍横須賀基地周辺に横須賀製鉄所 (造船所) が建設されました。



現在も米海軍横須賀基地内で稼働している石造りのドライドック

横須賀製鉄所 (造船所) では、メートル法や時間による労働管理、工場内での技術教育や健康管理など、西洋の技術や仕組みが導入され、全国に広まりました。このように、横須賀製鉄所 (造船所) は近代日本の発展の礎として、我が国の近代化をリードした屈指の工業施設で、

横須賀市総務部総務課

横須賀が都市として発展する出発点となりました。

その横須賀製鉄所 (造船所) は、慶応元年 (1865 年) 9 月 27 日 (現在の暦で 11 月 15 日) にくわ入れ式 (起工式) が行われてから、今年で 150 周年を迎えました。

横須賀製鉄所 (造船所) を本市の誇りとして次世代へ語り継ぐとともに、市内外に発信するため、様々な記念事業を開催しています。

■住むまち横須賀の魅力の創造発信

平成 26 年度の市民アンケートで「住み続けたい」と回答していただいた市民は 80.1% と高い数字を記録しています。一方、市民が感じている住むまちの魅力は、市外へはあまり伝わっていないことも分かりました。

そこで、住むまちの魅力を発信するため「横須賀“住”魅力発信プロジェクト実行委員会」を官民連携で立ち上げ、「横須賀体感モニターバスツアー」を始めとした様々な事業を展開しています。

■横須賀三大グルメ

横須賀といえば「海軍カレー」を思い浮かべる方も多いと思います。平成 11 年に横須賀市、海上自衛隊、横須賀商工会議所の協力により、明治 41 年に発行された「海軍割烹術参考書」のレシピを基に復元された「よこすか海軍カレー」は、「全国ご当地カレー知名度 No.1」に選ばれ、今やブランド知名度は全国区となるまでに成長しました。

さらに、米海軍横須賀基地との友好関係の証しとして提供されたレシピにより、平成 20 年には「ヨコスカネイビーバーガー」が、21 年には「ヨコスカチェリーチーズケーキ」が誕生し、海軍カレーと共に横須賀三大グルメとして、市内の飲食店で食べることができます。

横須賀にお越しの際は是非味わってみてください。



ヨコスカネイビーバーガー

最近の数字

		人口		労働・賃金		産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数	
		千人(Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	全国	東京都区部
実数	H27. 6	126929	6425	3.4	516,839	98.3	28.7	268,652	581,279	103.8	102.2
	7	P12695	6381	3.3	421,387	97.5	P28.6	280,471	472,058	103.7	102.0
	8	P12689	6379	3.4	298,598	96.3	P28.5	291,156	391,352	103.9	102.2
	9	P12685	6439	3.4	294,592	97.4	P30.1	274,309	338,098	103.9	102.2
	10	P12689	6432	3.1	P298,217	P98.8	...	282,401	404,876	103.9	102.3
	11	P12689
前年同月比	H27. 6	-	0.6	* 0.1	-3.3	* 1.1	2.4	-2.0	1.7	0.4	0.3
	7	-	0.4	* -0.1	1.0	* -0.8	P1.4	-0.2	5.0	0.2	0.1
	8	-	0.3	* 0.1	0.4	* -1.2	P2.8	2.9	1.8	0.2	0.1
	9	-	0.6	* 0.0	0.4	* 1.1	P3.1	-0.4	-1.2	0.0	-0.1
	10	-	0.7	* -0.3	P1.2	* P 1.4	-	-2.4	-0.3	0.3	0.1

(注) P：速報値 *：対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程 (2015年12月～2016年1月)

《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
12月1日	通信研修 「入門2 (12月)」開講(～21日)	1月8日	通信研修 「入門1 (1月)」開講(～29日)
〃	平成28年経済センサス・活動調査地方別事務打合せ会(7ブロック)(～18日)	14日	通信研修 「入門2 スクーリング」開講
4日	世界統計の日フォーラム2015	19日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門(1月)」開講(～22日)
11日	第93回統計委員会	21日	第94回統計委員会
		25日	統計研修 統計専門課程「産業連関分析」開講(～29日)

《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
12月4日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年10月分速報)公表	1月15日	家計調査(家計消費指数：平成27年11月分)公表
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成27年11月分公表	〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年11月分確報)公表
11日	家計調査(家計消費指数：平成27年10月分)公表	20日	人口推計(平成27年8月1日現在確定値及び平成28年1月1日現在概算値)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年10月分確報)公表	28日	住民基本台帳人口移動報告(平成27年(2015年)12月分)公表
15日	平成27年科学技術研究調査結果公表	29日	労働力調査(基本集計)平成27年(2015年)12月分(速報)、平成27年(2015年)10～12月期平均(速報)及び平成27年(2015年)平均(速報)公表
16日	平成26年全国消費実態調査(二人以上の世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯：平成27年(2015年)12月分速報)公表
21日	人口推計(平成27年7月1日現在確定値及び平成27年12月1日現在概算値)公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編：平成27年(2015年)7～9月期平均速報)公表
24日	住民基本台帳人口移動報告(平成27年(2015年)11月分)公表	〃	消費者物価指数(全国：平成27年(2015年)12月分及び平成27年(2015年)平均、東京都区部：平成28年(2016年)1月分(中旬速報値))公表
25日	労働力調査(基本集計)平成27年(2015年)11月分(速報)公表	〃	小売物価統計調査(全国：平成27年12月分(東京都区部：平成28年1月分))公表
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成27年(2015年)11月分速報)公表	〃	サービス産業動向調査(平成27年11月分速報)公表
〃	消費者物価指数(全国：平成27年(2015年)11月分、東京都区部：平成27年(2015年)12月分(中旬速報値)、平成27年(2015年)平均)公表	〃	サービス産業動向調査(平成27年8月分確報)公表
〃	小売物価統計調査(全国：平成27年11月分(東京都区部：平成27年12月分))公表		
28日	サービス産業動向調査(平成27年10月分速報)公表		
〃	サービス産業動向調査(平成27年7月分確報)公表		
31日	統計トピックス 「申年生まれ」と「新成人」の人口 -平成28年 新年にちなんで- 公表		
1月8日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年11月分速報)公表		
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成27年12月分公表		

編集発行 **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計情報システム課
 統計情報企画室 情報提供第一係
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
 ホームページ <http://www.stat.go.jp/>
 御意見・御感想をお待ちしております。